

2. 集団検診時の注意事項

ご本人様の身体状態により、検診日当日に受診をお断りする場合がありますのでご了承くださいようお願いいたします。ご不明な点などありましたら市健康増進課までお問合せください。

<p>基本健診 (ヤ.特.後)</p>	<p>食事 当日は血液検査に影響しますので食べないでください。 ※午後の健診の場合は、HbA1Cの判定になりますので食事の制限はありません。</p> <p>水分 糖分やミルク成分の入ったものは飲まないでください。(胃がん検診を受診しない方は水やお茶はさしつかえありません。) ※国民健康保険以外の保険にご加入の妊婦の方は、受診対象外となる可能性がありますので、健康増進課までお問合せください。</p>
<p>胃がん検診</p>	<p>バリウムを飲んで胃のレントゲン撮影をします。</p> <p>食事 前日午後8時から検査終了まで何も食べないでください。(タバコ、ガム等含む)</p> <p>水分 当日検査開始2時間前までに200ml以下の水、白湯の摂取はさしつかえありません。</p> <p>くすり ・血圧、心臓の薬は、当日検査2時間前までに200ml以下の水、白湯で服用してください。 ・血糖降下剤、インスリンは服用しないでください。(低血糖になる危険があります。)</p> <p>受診できない方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中または妊娠している可能性がある・検診当日に食事をした・消化管穿孔(せんこう)、閉塞またはその疑いがある・バリウム過敏症・体重が130kg以上 <p>※次の項目に該当する方は、誤嚥や検診機器からの落下等の事故が起きた場合に、集団検診の会場では、十分な医療設備がなく、必要な措置が行えないことから、検診当日の医師の判断により、検診をお断りする場合がございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・むせやすい・胃や大腸の手術を受けた・一人で姿勢を維持できないなど
<p>ABC検査 (胃がん ハイリスク検査)</p>	<p>ピロリ菌への感染の有無と胃の萎縮度合いを調べる血液検査です。</p> <p>食事 水分 当日の食事は可能です。(基本健診・胃がん検診を受けない場合)</p> <p>受診できない方 ・上部消化管に明らかな自覚症状がある・食道、胃、十二指腸の疾患を治療中・胃酸分泌抑制剤服用中、又は2か月以内に服用していた・胃の切除手術を受けた・腎不全・ピロリ菌の除菌治療を受けた</p>
<p>肺がん検診</p>	<p>※喀痰検査のみの検診はできません。検査当日の問診の判断により受付いたします。(レントゲン検査とセットになります。)</p> <p>受診できない方 妊娠中または妊娠している可能性がある</p>
<p>大腸がん検診</p>	<p>便の中に血が混じっていないか検査します(問診票と一緒に採便容器をお送りします)。2日分の便を採り、検診日に提出します(検診4~5日前より採取しても問題ありません)。※1日分しか採取できない場合でも検査は可能です。</p> <p>受診できない方 ・生理中(生理中は採便しないでください。) ・痔による出血がある。</p>
<p>前立腺がん</p>	<p>血液中の腫瘍マーカー(PSA)を調べます。</p>
<p>子宮頸がん 検診</p>	<p>子宮頸部の細胞を採って検査します。</p> <p>受診できない方 ・生理中・妊娠中または妊娠している可能性がある・性交渉の経験がない・子宮の摘出手術を受けた(検診により出血等があった場合、集団検診の会場では、十分な医療設備がなく、必要な措置が行えないことから、検診をお断りしております。主治医にご相談いただくか、指定医療機関での個別検診を受診ください。) ※受診間隔は厚生労働省の指針では2年に1回です</p>
<p>乳がん検診</p>	<p>受診できない方(マンモグラフィ) ・妊娠中または妊娠している可能性がある・授乳中(断乳後でも母乳が出ている)・ペースメーカー等体内医療機器装置を装着している・豊胸手術を受けた(ヒアルロン酸注入等) ※受診間隔は厚生労働省の指針では2年に1回です。</p>
<p>骨粗しょう検診</p>	<p>かかとの骨を超音波で測定します。</p>

【集団検診、個別検診で重複している受診項目について】

集団検診、個別検診のいずれかを年に1回受診できます。

市の補助を使った人間ドック(一般ドック・脳ドック・宿泊ドック)との併用はできません。

複数受診されますと、費用を返還していただきます。